

令和6（2024）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

嵯峨児童館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子 基 礎		(7) 中高生タイム	毎日						339					339	17時以降を中高生タイムとし、中高生だけで卓球や宿題・読書、お喋りをしたりとゆったり過ごす時間。	中高生がクラブや塾がない時に、主に卓球をしに来館。夏休みには早めに来館して夏休みの宿題をしたり、小学生と一緒に毎日の掃除を手伝ってくれたりした。児童館を居場所の一つとして利用している。
		(2) みんなあそび	7		9	198		11						218	みんなあそびを通して、学年を超えた子どもたちの交流を図る。	わかりやすいルールのあそびをすることで、誰でもすぐに参加できた。また、みんなあそびを通して、日頃関わりの少ない子ども同士も一緒になって楽しむことができた。
		(3) エコの日	12	4	49	224	34	8		6				325	エコについて考え、子どもたちが楽しんで取り組めるような内容とする。「だがしやさん」の日は参加者にエコバッグの持参と食べたおやつのごみの分別もしてもらう。	エコ工作、ごみの分別、環境カルタあそびなど、日常の身近なエコについていろいろな方法で学ぶことができた。年度末には子どもたちが児童館でできるエコについて話し合い、次年度から掲示し、実践するためのエコルールのポスターを作成した。
		(3) 避難訓練	12	2	7	276		5		2		1		293	児童館でもしもの事態が発生した場合に備えて、どのように行動すればいいのかをみんなで学ぶ。	避難経路の確認や、火事・地震が起きた際の避難訓練を実施。また消防署の方に訓練の様子を見ていただき、指導や助言について、次の時に振り返りながら避難訓練を実施した。
		(2) あそぼうDay マンカラ	2			13		1						14	日常的には使用していない4人用のマンカラを出し、マンカラに触れるきっかけ作りとする。	マンカラは子どもたちがよく遊ぶあそびの一つだが、この日だけ使える4人用マンカラを通して、普段あまり一緒に遊ばない子ども同士でマンカラを楽しんでいた。
		(2) あそぼうDay トランポリン	12	6	6	149	1	2		6				170	トランポリンを月1回出し、普段しない遊びに挑戦し、その遊びの楽しさを知る機会とする。	幼児から小学生まで楽しめる遊具で、楽しみにしている子もいるが、徐々に参加者数が減ってきているため、次年度は実施回数の見直しが必要。
		(2) あそぼうDay卓球	12		3	103	16	1	7	11				141	卓球台を月1回出し、普段しない遊びに挑戦し、その遊びの楽しさを知る機会とする。	普段から卓球目的で利用する高学年や中高生、Pingpongに来られている地域の方の参加もあり、多世代交流の場となっている。多世代交流の場として、今後も継続して行いたい。
		(2) あそぼうDay 将棋・オセロ	1		1	12						2		15	オセロや将棋のルールを知り、対戦を通してその遊びの楽しさを知る。	大学生ボランティアが対戦相手となって将棋をしてくれた。また、本将棋を知っている子が知らない子に教える姿も見られ、将棋を知らない子も楽しむことができた。オセロはルールを知っている子が多く何度も対戦相手を変えて楽しんでいた。
		(2) あそぼうDay おりがみ	4	1	6	51				1				59	「紙ひこうき」「プッシュポップ」「トントン紙相撲」「手裏剣」などの作品を通して、作って遊ぶ楽しさを知る。	「紙ひこうき」や「手裏剣」の折り方を知らない子が多く、折るのに時間がかかったり、きれいに折れない子もいたが、自分で折りあげた達成感と折ったものを使って遊ぶ楽しさを経験できた。
		(2) あそぼうDay きりがみ	3		3	37								40	毎回テーマを決め、作品を作る。ハサミを使う前に指の屈伸を行い、ハサミの持ち方や使い方も伝える。	学年に応じて作品のレベルを設定したことで、レベルにあった作品を作り上げ達成感を味わうことができた。ハサミを使うのが苦手な子も最後まで仕上げる。作品を貼った台紙も自由に色を塗ったり、絵を描いて楽しい作品ができる。
		(2) あそぼうDayオセロ	1			11								11	3月の巨大オセロ週間に前に、オセロのルール確認も兼ねて行う。	学年を超えて対戦相手を変えながら、オセロを楽しむことができた。
		(2) あそぼうDay キャップ積み	1			14		3						17	キャップ積み記録大会に向けて、練習を兼ねて行う。	簡単に盛り上がり、記録に挑戦しようという意欲をもち、記録大会への参加につながった。
		(3) キャップ積み記録大会	3		1	55		12						68	身近にあるものを使って遊ぶ楽しさを知る機会とする。	個人記録を目指して積み方の工夫をしながら記録に挑戦していた。
		(2) びゅんびゅんごま週間	5	1	11	70				1				83	円形に切った牛乳パックに絵を描いて、オリジナルのびゅんびゅんごまを作って遊ぶ。巨大びゅんびゅんごまを2人で協力しながらまわす。	自分のこまを作るだけでなく、児童館で使うこまを作ったり、巨大びゅんびゅんごまを友だちと協力して回すなど、作る楽しさと仲間と協力してまわす楽しさを経験できた。
		(2) カブラ週間	4		1	48	1					1		51	カブラワークショップを前に、いろいろな積み方に挑戦し、その楽しさを知る機会とする。	普段カブラをしない子も興味を持って参加していた。時間をかけて高く積み上げるなど、友だちと協力しながら作っていた。
	(3) カブラワークショップ	1	2	4	35		2		1				44	講師を招いて、より高度でいろいろな遊び方を知る機会とする。	乳幼児親子の参加もあり、親子で楽しむ姿も見られた。カブラについての知識や楽しい遊び方を学び実践する機会となった。みんなで協力し合ってカブラを積み上げていく楽しさと達成感を知る機会となった。	

も 育 成 機 能	全 活 動 基 本 活 動	(2) だがしやさん	5	4	34	142	10	2		6				198	決められた金額の中で、自分で好きなお菓子を買い、お釣りをもらうなどのやりとりを体験をする。	自分で買い物をする経験が少ない子は、お金の計算をしたり、100円分のおやつを買うことが難しい様子だったが、回を重ねるごとに慣れてきて、買い物もスムーズになり、楽しんでお菓子を選んでいった。買ったお菓子を入れるエコバッグの持参をおたよりでも呼びかけ、エコの意識づけにもつながった。
		(2) 工作週間	3		2	26	1	4						33	画用紙に色染めした和紙をちぎって貼り、絵や模様を描きラミネートしたしおりを作る。	色とりどりの和紙を選ぶところから楽しんでおり、できたしおりを早速使っている子どももいた。
		(2) 牛乳パックごま週間	4		3	42								45	細く切った牛乳パックに色を塗ってこまを作り、作ったこまで遊ぶ。作りあげる達成感を味わうとともに、遊び方を工夫し、遊ぶ楽しさを知る。	色を塗ったこまを回した時の色の変化を楽しんだり、友だち同士で良く回るようにアドバイスし合う姿も見られた。
		(3) さがじどうかん子どもまつり	1	11	15	26	11			11				74	1部のあそびコーナーの内容を子どもたちで考え、当日もコーナーを子どもたちで運営する。2部はひみちやたいさんの人形劇を観劇する。地域の皆さんに児童館を知ってもらい利用につなげる。	学童クラブの子どもたちに1部のあそびコーナーを担当してもらい、企画、準備から当日の運営をしてもらった。子どもたちにとってはやり遂げる経験が自信につながった。2部では人形劇を初めて観る子どもも多く、ひみちやたいさんの公演は好評であった。子どもたちがポスターを作成し、小学校にも掲示していたが、自由来館児童の参加が想定より少なかった。今年度は小学校の代休日に開催したが、開催日時の検討が必要である。
		(7) クリスマス会 子ども実行委員会	4				11								高学年児童を中心とした実行委員会で企画・実施し、行事を責任をもって作り上げる達成感や喜びを感じる。	各自が案を考えてきて、意見を出し合いながらまとめることができた。振り返りでは自分たちの運営や全体について客観的に意見を述べることができた。
		(3) クリスマス会	1		3	28	6							37	高学年児童を中心とした実行委員会で企画・実施。自由来館児童と学童クラブ児童が交流する機会とする。	実行委員が当日の準備から進行、片付けまで、責任を持って進めてくれた。実行委員にとっては、自分たちの手で一つの行事を作り上げる達成感を味わえた。参加した子どもたちも楽しんでいった。
		(3) 伝統工芸体験	1	1	21	1	5			4				32	型友禅の職人が講師となり京都の伝統工芸について楽しく学び、型染のバッグの製作体験をする。	1つの図案を複数枚の型紙を使って色を重ねる作業を、子どもたちは集中して取り組んでいた。同じ図柄でも、出来上がると個性豊かな作品となり、子どもたちにとって京都の伝統工芸を体験できる貴重な場となった。職人さんが作って下さった名前の型紙は参加者にとっても喜ばれた。
		(2) ブラバン週間	4		2	32								34	ブラバンに描かれたクリスマスツリーに色を塗り、クリスマス会のプレゼントとして作成。	完成させたブラバンはクリスマス会のプレゼントとして渡す。子どもたちは自分で作ったブラバンをクリスマス会でもらえるのを楽しみにしていた。
		(3) 大そうじ	1		3									3	気持ちよく新年を迎えるため、分担して児童館をきれいにする。	土曜日だったため、この日の学童クラブ児童の利用はなく、大そうじを目的に自由来館児童の参加があった。職員と一緒に隅々まで丁寧に掃除をしてくれた。
		(3) むかしあそび	3		4	39	1							44	お正月の時期でもあり、通常サイズの木の羽子板とダンボールで制作した大型羽子板を使って、みんなで羽根つきを楽しむ。	昔の遊びを知る機会となった。また、普段、身体を使って遊ぶことが少ないので、寒い時期に汗をかくほど遊ぶことができた。
		(2) みんなでなわとびをしよう！	3		1	36								37	普段できないなわとびに挑戦し、みんなで遊ぶ楽しさを知る。	3日間の設定で、1日目は簡単な跳び方、2日目、3日目とだんだん難しい跳び方にし、みんなで何回跳べたかにも挑戦するなど、なわとびができない子も参加しやすい設定をした。普段、遊びに参加しない子も参加する姿がみられた。また、跳ぶのに失敗しても途中でくじけることなく、最後まで楽しんでいった。
		(4) 低学年クラブ	10		34							1		35	自分たちで活動の内容を考え実行することで、主体性や自主性を身につける。	活動内容をみんなで決めて活動することができた。ただ、主導権握った子のペースになりがちな部分もあった。
		合 計	120	32	223	1668	97	51	346	49	0	5	0	2460		
	推 進 活 動															
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能 合 計		120	32	223	1668	97	51	346	49	0	5	0	2460		

* 注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館の別別途報告すること。

令和6（2024）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 （ 嵯 峨 ） 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子ども も 家庭 支 援 活 動	基本 活 動	あそびの広場	18	70						68		1		139	おもちゃやすべり台やトランポリンなどの遊具を出して、自由に遊んで過ごしてもらう。最後に読み聞かせとカード返しをする。	年齢や月齢の違う乳幼児さんが出会う場となっている。保護者同士も顔なじみになり、子育ての話などをしたりと保護者のリフレッシュの場にもなっていた。
		のびのびタイム	36	124					8	113				245	自由に児童館で遊んでもらう。	幼児クラブや広場がない日でも自由に来て遊んでもらう日と設定。クラブ以外で知り合う機会にもなっていた。
		ぱんだ広場	11	45					1	52		1		99	はぐくみ室、児童館学童連盟と協力・連携をして実施。子どもたちが遊んでいる様子を見てもらいながら、子育てや発達について相談できる場を提供する。月1回実施。今年度は「子育て講座」も実施。	ぱんだ広場を子どもはぐくみ室から紹介されて相談に来られた方や、たまたま遊びに来られた保護者も気軽に相談できる場となっている。関係機関と情報共有を行い、より良い支援につなげていきたい。
		ふわふわクラブ	29	317			3			311		18		649	登録制のクラブ。0歳～1歳半児対象。体操や設定遊び、月1回の身体測定を行う。	年度途中も登録者が増えた。同じ月齢の子が多く、保護者同士が繋がるきっかけとなった。クラブ終了後も遊んで帰られることが多く、保護者同士の関係づくりの場となっていた。
		おひさまクラブ	28	202					1	186				389	登録制のクラブ。1歳半からの幼児対象。体操や手あそび、設定遊びをする。	前半は親子で過ごすことが多く、場面の切り替えがむずかしいところもあったが、年度後半になると子どもたちが一緒に遊ぶとうとする姿や言葉でのやり取りができるなど、成長が見られた。
	基 本	①乳幼児さんよっといで〜	10	51						55		1		107	登録制のクラブや遊びの広場以外の交流の場とする。保護者をメインとした内容を設定し、保護者自身に交流を楽しんでもらう場とする。「制作」「右京はぐくみ室の保健師さんによる子育て講座」夏の過ごし方”」 「右京警察署による交通安全教室」「クリスマス会」などをする。	自由参加の形態で実施。後半には、児童館を利用されている保護者の申し出により、英語での読み聞かせもしてもらった。
		②だっこしてギュ！	1	12					14	11				37	高校生と赤ちゃんとのふれあい・交流を目的とし、北嵯峨高校と連携して実施。折り紙を使った制作や、絵本の読み聞かせ、赤ちゃんの抱っこ体験を通して、高校生と乳幼児親子の交流を図る。	乳幼児さんと関わる機会の少ない高校生たちが、生後数か月の赤ちゃんを抱っこさせてもらったり、保護者に出産や子育てについての質問にわかりやすく答えていただいたりと、高校生にとって貴重な機会となった。また、保護者にとっても、我が子の成長の見通しを持つ機会となった。

家庭支援活動子ども家庭支援活動	活動	イオン子育てほっと広場	1	2					2				4	右京区にあるイオンの一角を借り、イオンに来られる乳幼児親子向けの工作などをする。	日頃自館を利用されている乳幼児親子の参加は少なかったが、右京区の児童館の活動を周知する良い機会となった。
		子育て講座	1	8					7				15	右京はぐくみ室栄養士による「離乳食について」の子育て講座を実施。	利用される保護者の声から、子育て講座「離乳食について」を実施。月齢によって悩みも様々だったので、個別の質問にも答えていただき、保護者も安心されていた。
		わくわくキッズランド	1	15					17			4	36	乳幼児向けのおまつりとしてゲームコーナーや工作、エブロンシアター、ピアノ演奏などを行った。嵐山民生委員・主任児童委員や右京はぐくみ室の保健師にも協力いただく。	エブロンシアターやピアノ演奏など、親子でゆっくり楽しんでもらった。また、嵐山民生委員・主任児童委員の方にはあそびコーナーを手伝ってもらい、右京はぐくみ室の保健師には子育て相談をしていただいた。
		合 計	136	846	0	0	3	0	24	822	0	21	4	1720	
	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数		相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数
		乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生	21 32 4 68 8 16	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 他児童館				140 8 1		健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他		92 4 53	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 他児童館		23 1 1
		件数 計	149	—				149		—		149	—		25
		(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育成・支援内容				成果と課題		
	活動	推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容							成 果 と 課 題		
				「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換え	毎日	地域の子育て家庭の保護者が持参した京都市発行の無料引換券を京都市家庭ごみ有料指定袋と引き換える。							引換えのために来館された際、児童館だよりを渡して利用につなげることができた。		

令和6（2024）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 嵯峨 ） 児 童 館

<様式10－3>

地 域 福 祉	基 本	(1) 地域住民との交 流を促進する活動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
			Pingpong	10	嵯峨児童館							20	20	Pingpong	Pingpongに卓球をしに来られている地域の方が、「あそぼうDay卓球」にも参加され、子どもたちとの継続した交流に繋がっている。
			嵐山らんらんサロン	8	嵐山民生児童委員協議会	48						49	97	嵐山民生児童委員協議会	様々な取組をされ、らんらんサロンを目的に来館される方もいた。
			右京ブロック児童館まつり	1	京都市児童館学童連盟・右京ブロック児童館まつり2024実行委員会	14	18	4	2	1	27	66	右京区の児童館	右京区内の児童館が集まり、あそびコーナーやステージ発表を楽しんだ。	
			右京ブロックあそび交流会	1	右京ブロックあそび交流会実行委員会								右京区の児童館	右京区内の児童館の子どもたちが集まり、オセロ・将棋の交流戦を行う。今年度は自館からは参加できる児童がいなかった。	
			嵯峨子育てほっとサロン	2	嵯峨民生児童委員協議会	11					10	21	嵯峨民生児童員協議会	年2回、児童館職員が嵯峨小学校で実施されるサロンに赴き、手遊びや読み聞かせを行う。これをきっかけに児童館の幼児クラブに登録されたり、行事に参加されたりした。	
			認知症サポーター講座	1	嵐山地域包括支援センター		1	33	1	7		42	嵐山地域包括支援センター	嵐山地域包括支援センターの職員の方に来ていただき、子どもたちに寸劇やクイズを通して認知症について分かりやすく説明していただき、認知症の方についての理解を深めた。	
			木材を使ったスマホスタンドづくり	1	嵯峨児童館			33	1	7		41	右京中央老人福祉センター まるちゃんクラブ	廃材を利用したスマホスタンドを製作。老人福祉センターとの交流が継続して実施できた。参加者には好評だったが、自由来館の申し込みが少なかったため広報に工夫が必要。	
			移動動物園	1	嵯峨児童館	88	3			1	128	220	嵯峨民生児童委員協議会・健光園嵯峨ひかり広場	土曜日開催のため、家族で参加される方多かった。	
			右京ブロックドッジボール交流会	1	右京ブロックドッジボール交流会実行委員会		4	6				10	右京区の児童館	右京ブロック交流行事として、ドッジボール交流会に参加する。普段は交流しない子どもたちとドッジボールをし、良い交流の機会となった。	
			合 計	26	—	161	26	76	4	14	234	517			

促進 機能	活動	(2) ボランティア 活動の推進	活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題	
					中高生	大学生	大 人	合 計		
			嵯峨美術大学 ボランティア演習			115		115	嵯峨美術大学の学生がボランティア演習で来館。児童館のさまざまな取組に参加してもらうだけでなく、取組準備の作業などしてもらい、児童館の活動を知ってもらうことができた。また、午前は乳幼児親子と、午後は児童と交流をしてもらえた。	
				合 計	0	115	0	115		
	動	(3) 地域との連携を 促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容				成 果 と 課 題		
			嵯峨民生児童委員協議会	嵯峨子育てほっとサロンに定期的に出向き、ふれあいあそびや絵本の読み聞かせを実施。毎月1回児童館だよりの配布をおこなう。				嵯峨子育てほっとサロンに出向き、関わった乳幼児親子がその後児童館へ継続的に来てくれるようになっている。		
			嵐山民生児童委員協議会	嵯峨児童館で実施する「嵐山らんらんサロン」において、ふれあいあそびや絵本の読み聞かせを実施。毎月1回児童館だよりの配布をおこなう。				乳幼児クラブで宣伝をすることで参加者が増えた。らんらんサロンで、初めて児童館に来られる乳幼児親子には積極的に声をかけ、児童館の継続的な利用につながる乳幼児親子もいた。		
			右京区内の児童館	右京ブロック交流行事への参加・協力。				右京ブロック交流行事として、右京ブロック児童館まつりやあそび交流会に参加。		
			右京消防署嵯峨出張所	避難訓練の実施を依頼。また乳幼児クラブでの消防署見学を実施。				避難訓練では、消火器の使い方や火事の際の逃げ方について指導していただく。乳幼児クラブの消防署見学では消防車の試乗や救急車を呼ぶ際のポイントなどを話していただいた。		
			右京中央老人福祉センター	毎月1回児童館だよりの配布を行うとともに、毎年何らかのかたちで交流活動を行っている。				今年度は老人福祉センターからご紹介いただいた「まるちゃんクラブ」にお越しいただき、木材のスマホスタンドづくりを実施。子どもたちは楽しんで製作をしていた。		
			右京区子どもはぐくみ室	乳幼児親子向けの子育て講座の講師依頼をする。また月に1回のぱんだ広場で保健師に来ていただき、子育て相談を実施してもらう。地域の子育て支援の情報も共有する。				子育て講座では離乳食や乳幼児期の食事についてお話いただいた。ぱんだ広場では子育て相談の実施と、子育て支援の情報共有をすることができた。		
			嵐山小学校	入学式・卒業式への出席。児童館だよりを全校生徒へ配布する。定期的に児童の様子を情報共有する。				児童館だよりを全校生徒に配布してもらうことにより、学童クラブ児童以外の小学生の児童館事業への参加が多数あった。定期的に児童の情報共有をすることができた。		
			嵯峨小学校	月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			嵐山自治連合会	児童館だよりの地域掲示板への掲示依頼をする。				掲示板に児童館だよりを掲示してもらうことで、児童館の取組への参加につながった。		
			嵯峨体育振興会	月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			嵯峨交通安全推進委員会	月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			右京少年補導委員会嵯峨支部	月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			嵯峨ひかり広場	移動動物園を共催する。月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			嵯峨自治連合会	月に1回児童館だよりの地域回覧を依頼する。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			嵐山学区社会福祉協議会	月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			嵐山体育振興会	月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			嵐山交通安全推進会	交通安全教室への協力を依頼する。月に1回児童館だよりの配布を行う。				児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立てとなった。		
			右京警察署	乳幼児親子向けの交通安全教室を依頼をする。				今年度は乳幼児親子を対象に交通安全教室を行った。ペープサート等を使って信号や横断について学ぶ。また、自転車や自動車に乳幼児を載せる際の注意点についてもお話していただいた。		

地域福祉	基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題	
			運営協力会		嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館学童クラブ保護者代表		年2回		年間の活動計画及び活動報告 地域の情報共有		児童館の事業内容を報告し、理解や協力を得て連携し合うことができている。今後も引き続き運営協力会での地域の情報交換や共有を行っていく。	
			子育て支援ステーションネットワーク会議		嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館学童クラブ保護者会、嵯峨こばと保育園、まこと幼児園、うぐいす保育園、若竹保育園		年2回		年間の活動計画及び活動報告 地域の情報共有、活動の協力		参加者が少ないこともあるが、児童館の事業内容を報告し、理解や協力を得て連携し合うことができている。今後も引き続き地域の情報交換や共有を行っていく。	
	促進機能	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）			成果と課題		
嵐山らんらんサロン			嵐山民生児童委員協議会主催の子育てサロンとの連携を図り、子育て支援を行う。 地域住民に児童館を知ってもらい、今後の利用につなげる。		嵐山民生児童委員協議会			関係づくりの機会となっている。サロンで児童館に初めて来られた方も、その後の利用につながっている。				
(6)地域調査活動		調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法		成果と課題				
		児童館利用者共通アンケート	児童館運営に対する意識調査及び児童館運営の参考にするため	児童館利用者 （小学生・中学生・保護者）	京都市社会福祉協議会 児童館	児童は利用時に記入してもらい回収。中学生・保護者にはウェブから回答できるようにした。結果はおたよりに掲載し公表した。		中高生・乳幼児の保護者にはウェブでの回答は手軽ではあり、その場で回答してもらえたので、昨年度より回答率が上がった。対して学童クラブ保護者にもウェブでの解答を依頼したが、回答率は低かった。しっかりと利用者のニーズや思いを知る大切な機会として、丁寧に呼びかけ回答をいただくようにしたい。				
		乳幼児クラブアンケート （ふわふわ／おひさま／午前中の乳幼児の活動）	母親の感想や希望調査・次年度の運営の参考のため	乳幼児クラブ登録保護者	児童館	乳幼児クラブ最終回や広場などで配布し記入・回収。		保護者の思いや要望などを知ることができた。次年度の事業計画を立てる際の参考となった。				
		子育て講座アンケート	企画に対しての意見や感想を知り、今後の企画の参考にするため	講座参加者	児童館	終了時にその場で記入・回収。		参加者の思いを知ることができ、次年度の企画を考える参考になった。				

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	さがじどうかんリーフレット	随時	新規利用者	来館者に配布	社会福祉協議会の行動指針と、嵯峨児童館の利用や行事の予定	初めて来館された利用者に児童館について知ってもらうために活用。
	じどうかんだより	月1回	児童、嵯峨・嵐山区地域住民や保育園・幼稚園、嵯峨・嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、乳幼児クラブ登録者、右京子どもはぐくみ室、右京中央老人福祉センター、嵯峨ひかり広場など	【おたより】来館者に配布、地域回覧、嵐山小学校に全校配布、はぐくみ室・老人福祉センターに置いてもらう、ホームページに掲載 【ポスター】児童館、地域掲示板に掲示	月の行事予定 毎月の行事報告	嵐山小学校への全校配布は目を通してもらいやすい。ホームページにも載せているので、他学区の利用者も来館された。
	乳幼児クラブしおり （ふわふわクラブ・おひさまクラブ）	年1回	乳幼児クラブ登録者	クラブ登録者に配布	クラブの進め方、約束など	乳幼児クラブの流れや約束事などについて記載し説明も行うことで、ルールを守って参加してもらえた。
	乳幼児クラブ 毎月の予定	毎月1階	乳幼児クラブ登録者	クラブ登録者に配布	各クラブの翌月の予定	内容や持ち物等について伝えることで、保護者に見通しを持って出席してもらえた。
	学童クラブ入会のしおり	年1回	学童クラブ登録家庭	全家庭に配布	学童クラブの約束など	学童クラブ登録家庭には配付。新しく学童クラブへ入会される際には、しおりを基に丁寧に説明を行うことができ、学童での生活のイメージを持ってもらうことができた。
	学童クラブだより さがFriends	毎月1回	学童クラブ登録者	全家庭にウェブにて配信	学童クラブの活動報告	学童クラブの予定、子どもたちの様子、連絡事項等毎月の活動報告。ウェブ配信では見にくかったり、なかなか目を通してもらえないため、次年度からウェブ配信に加えペーパーでも配付予定。